

第1学年2組 図画工作科学学習指導案

日 時 平成28年11月11日（金）第3校時

場 所 1年2組教室

児童数 27名

指導者 小谷 こずえ

1 題材名 「シャカシャカこすって すてきなもよう」

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は穏やかで優しい児童が多い。授業中は自分から考えを発表したり、伸び伸びと表現をしたりする児童が少ない。休み時間は、外で元気に遊び、雨の日は絵をかいたり折り紙遊びを楽しむ児童が多い。

「どんどんかくのはたのしいな」では、遠足で楽しかったことを友だちと話し合いながら絵を描いた。出来上がると嬉しそうに先生や友だちに絵を見せながら話す姿がみられ、自分の思いを表現する楽しさを感じたようであった。しかし、クレヨンを持つ力が弱かったり、線で表現できても面で塗ることができなかったり、まだクレヨンを使うことに慣れていない児童もいた。

「チョキチョキかざり」では、はさみの使い方を知り、切り方や折り方を試しながら飾り作りを楽しんだ。気に入った色や柄の折り紙を選んだり、いろいろな折り方を工夫したりして様々な飾りを作った。自分で考えたり工夫したりして出来上がった作品にとっても満足している様子であった。さらに友だちの作品を見て、積極的に作り方を友だちから聞き、試す児童もあり、お互いに高め合いながら作品作りをしていた。ただ、はさみを使うことに慣れておらず、重ねた紙や曲線が思い通りに切れなかったり、同じ形の飾りばかりになってしまうなど、表現に広がりをもてない児童もいた。

今回の「シャカシャカこすって すてきなもよう」では、はじめに全員が同じ素材で試し、どうやったら模様がはっきりとこすり出せるのかを知り、こすり出しに慣れたところで次の活動に入りたい。そして友だちと活動するなかで、写す物の形の面白さに気付いたり、使う色によってイメージが変わることに気付いたりして、よい所を見つけ合ったり、友だちの表現を参考にする中で、表現の幅を広げながら、伸び伸びと活動できるようにしたい。

(2) 本題材を指導するにあたって

この題材は、身近にあるものをこすり出しながら、紙に形を写し取る活動を楽しむことをねらいとしている。以前に児童は、身近にある「でこぼこ」を見つけ、紙粘土に写し取る活動を楽しんだ。しかし、押し付ければ簡単に写し取れる粘土に比べ、紙でのこすり出しには難しさを感じ、活動への意欲をなくす児童もいると考えられる。そこではじめは全員に、こすりだしやすい「でこぼこ」と、平面が一度に広くぬれるチョークを用意し、立体的な「でこぼこ」が平面に写し出される楽しさを十分に味わわせ、いろいろな「でこぼこ」をこすり出す意欲を高めたい。その上で、活動を教室中に広げ、友人とかかわりながら「自分もやってみたい」「違う色でやってみよう」と児童なりに考えたり、新たな発見をしたりすることで、さらなる活動へつなげたい。活動の最後には、お互いの作品から面白さや違いを見つけ合い、こすり出しの色や重ね方を変えることで新しいものに見えてくることに気づき、楽しむことができるような態度を育みたい。

3 学習指導要領上の位置づけ

A 表現（１）材料を基に造形遊びをする活動を通して次の事項を指導する。

イ・・・感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくること。

B 鑑賞（１）身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。

イ・・・感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。

〔共通事項〕

（１）「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。

イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

4 目標及び評価規準

（１）目標 体全体を働かせながら、いろいろなものを使って形を写す活動を楽しむ。

（２）本題材における〔共通事項〕

ア 自分の感覚や活動を通して、いろいろなものの形のおもしろさをとらえる。

イ 形や色、肌触りなどをもとに、自分のイメージをもつ。

（３）本題材における評価規準

（◆「努力を要する」と判断される状況（C）児童への支援）

※アンダーラインは〔共通事項〕に関連した内容を示す

造形への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力
表 身の回りのものをこすり出して形を写すことを楽しもうとしている。 鑑 自分や友だちの作品のよさを見つけ、楽しもうとしている。	写すものの <u>形の面白さに</u> 気づき、 <u>写すものを見つけ、使う色を考えている</u> 。
◆身近な素材で例示し、安心して取り組むことや、友だちと楽しく活動することを促す。 ◆友だちや教師と対話しながら作品を見るようにする。	◆対話を通して、形や色などの感じに目を向けるようにする。 ◆友だちと見合いながらいろいろなイメージを思い浮かべられるようにする。

5 指導と評価の計画（１時間扱い）

学習活動	関	発	創	鑑	評価の方法 留意点
身近にあるでこぼこのものを選んで、こすり出しを楽しむ。 自分や友だちの作品よさを見つけて楽しむ。	○				関 行動観察、対話、表現
写すものの形に注目し、使う色を考えながらこすり出しを楽しむ。		○			発 行動観察、対話、表現

6 本時の学習指導（1／1時）

（1） 目標 体全体を働かせながら、いろいろなものを使って形を写す活動を楽しむ。

（2） 準備

○教師 でこぼこの物いろいろ、段ボール児童数分、上質紙、半紙、チョーク、洗濯バサミ

○児童 でこぼこの物

（3） 展開

過程・時間	学習活動	指導上の留意点 （〔共〕：共通事項に係わる内容）	評価と手だて 観点：評価規準 【評価方法等】 【◎：十分満足できる状況】 【◆：C判断生徒への手立て】	準備等
導入 10分	めあて でこぼこをこすって おきにいりのもようを 見つけよう 提案1 どうやったらシャカシャカもようがでてくるのかな 1 教師が写した模様を見て、本時の活動のおよその見通しを持つ。 2 こすり出しの方法を知る。			例示する物 ICT紙 チョーク 段ボール
展開 25分	提案2 いろんなでこぼこを見つけて、シャカシャカしよう 3 でこぼこしている物を触り、こすり出しを楽しむ。 4 写すものの形に注目しながら、色や重ね方を工夫して、こすり出しを楽しむ。			でこぼこした物 チョーク 上質紙 半紙 洗濯バサミ

整理 10 分	5 本時の学習を振り返り、自他の作品のよさを味わう。	提案3 でてきたもようやかたちを、ともだちと見せあおう ○活動の楽しさを味わうことができるように、友だちや教師に伝え合う活動を設ける。〔共〕 ○児童の思いや願いを大切にしたい肯定的な意見を述べることで、意欲をもたせる。	関 自分や友だちの作品のよさを見つけて、楽しもうとしている。 【行動観察、対話】 ◎：形や色に注目して、自分や友人の作品を積極的に楽しんでいる。 ◆：作品に興味を持っていない児童には、何を写し出したのかクイズを作るよう助言する。また、色や形の面白さや、何に見えるかなど、視点のヒントを示す。	洗濯用ロープ
---------------	----------------------------	--	---	--------

7 板書計画

シャカシャカこすって すてきなもよう

でこぼこをこすって おきにいりのもようを 見つけよう

- ためす
- つくる
- みてみて
- つくる
- かたづけ
- はっぴょう
- まとめ

もようの出しかた

①でこぼこをさわる

②かみをのせる

③シャカシャカする

じょうずな
シャカシャカのまほう

- ・かみをおさえる
- ・よこにして**シャカシャカ**
- ・**シャカシャカ**のつよさ (そっと←→ごしごし)

- ・いろをかえたら？
- ・いろやかたちをかさねたら？

わたしのおきにいりは～です。
なぜかという～からです。
いいね！～がすてき

いろいろなでこぼこを
かみにうつすのはたのしいね！
いろをかえたり
かさねたりすると
もっとたのしくなるね！！

はっぴょうのヒント

いろが… もようが…

～みたい ～ににている

ふわふわ きらきら